



YANMAR

News Release

2020年10月14日
ヤンマーホールディングス株式会社

施肥量を自動でコントロールし、効率的な肥料散布を行う 密苗直進アシスト田植機 可変施肥仕様「YR8D,XVTSD」を発売



< 密苗直進アシスト田植機 可変施肥仕様「YR8D,XVTSD」イメージ >

ヤンマーホールディングス株式会社のグループ会社であるヤンマーアグリ株式会社(本社:大阪市、社長:増田 長盛)は、施肥マップデータに基づき施肥量を自動でコントロールする密苗直進アシスト田植機可変施肥仕様「YR8D,XVTSD」を2021年3月1日に発売します。

近年の稲作は経営面積の大規模化や作業効率向上のためほ場の大区画化が進む一方で、ほ場の地力低下や地力のバラツキが起り、収量や生育・品質の均一化が課題となっています。そこでヤンマーは、生育の均一化と収量の安定化を目指し、施肥マップデータに基づいた適正量を肥料散布できる直進アシスト田植機可変施肥仕様「YR8D,XVTSD」を発売します。

今後も当社は、お客様のニーズに応えるとともに持続可能な農業の発展に貢献してまいります。

■商品概要

商品名:密苗直進アシスト田植機 可変施肥仕様 YR8D,XVTSD

発売日:2021年3月1日

商品価格:4,455,000円～4,505,000円(税抜、メーカー希望小売価格)

■主な特長

(1)可変施肥機能により施肥マップデータに基づいた施肥量を自動散布

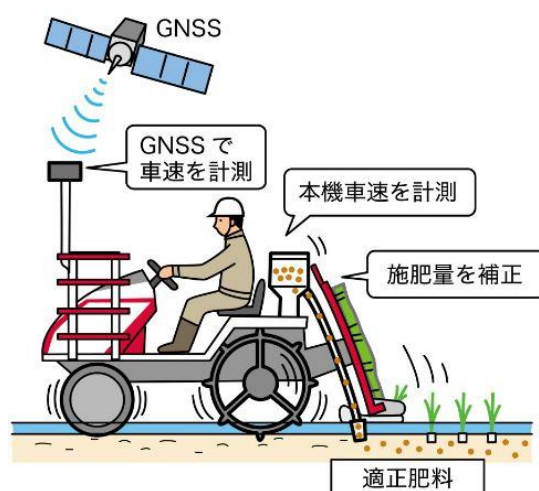
お客様が作成した施肥マップデータを田植機に取り込むことで、移植作業時の施肥量を自動でコントロールします。また、幼穂形成期にほ場を撮影し生育状況を見える化するリモートセンシングにより作成した施肥マップデータを活用いただくことで、より高精度な施肥散布を実現します。これにより、各ほ場における収量や生育、品質の均一化が期待できます。



< 施肥マップデータの取り込みイメージ >

(2)GNSSによる位置測位によりスリップ時の施肥量を自動補正

GNSS(Global Navigation Satellite System)アンテナで機体の位置を高精度に測位することで、リアルタイムに車速を算出し、スリップ時の施肥量を自動調整します。これにより、常に施肥マップデータに基づいた適正量の肥料散布が行えます。



< スリップ補正イメージ >

(3) 操作が簡易なタッチパネルにより使いやすさと精度を両立

可変施肥機の操作は運転席の手元のタッチパネルで簡単に操作することができます。施肥量をリアルタイムで確認でき、使いやすさと精度の両立を実現しました。



< タッチパネルイメージ >

<ヤンマーについて>

1912年に大阪で創業したヤンマーは、1933年に世界で初めてディーゼルエンジンの小型実用化に成功した産業機械メーカーです。「大地」「海」「都市」のフィールドで、産業用エンジンを軸に、アグリ、建機、マリン、エネルギーシステムなどの事業をグローバルに展開し、お客様の課題を解決するソリューションを提供しています。ヤンマーは“A SUSTAINABLE FUTURE-テクノロジーで、新しい豊かさへ。”をブランドステートメントに掲げ、次の100年へ向けて持続可能な社会の実現に貢献していきます。

詳しくは、ヤンマーのウェブサイト <https://www.yanmar.com/jp/about/> をご覧ください。

<注記>

記載されている内容は発表時点のものです。最新の情報とは内容が異なっている場合がありますのでご了承ください。

【商品に関するお問い合わせ】

ヤンマーアグリ株式会社 お客様相談室

TEL: 06-7636-9298

【報道関係者お問い合わせ先】

ヤンマー 広報担当

E-mail: koho@yanmar.com